



LOCATIONMind



OC GLOBAL

# インドネシア国における モバイルビッグデータを活用した スマートプランニングツールの展開

LocationMind (株)  
(株) オリエンタルコンサルタンツグローバル

2023-06-08



LOCATIONMind

We Help Your When, Where And Why

# LocationMind at a Glance

## Company Profile

会社名	LocationMind株式会社
設立	2019年2月
従業員	47名 修士・博士インターン30名
取引銀行	三井住友銀行、みずほ銀行
監査法人	E&Y新日本
法律事務所	西村あさひ法律事務所

東京大学最大規模の研究室が  
丸ごとベンチャーに（柴崎亮介研究室）

空間情報科学領域のトップランナー集団



## 信号認証事業



1. 人工衛星を活用した測位のセキュリティ事業（宇宙テックカンパニー）
1. 日本の準天頂衛星に採用され実装間近他の人工衛星コンステレーションとも協議中

## 空間情報AI事業



1. NTTドコモや日野自動車など国内業界最大手とのパートナーシップをはじめ、国内外の様々な空間情報ビッグデータ保有企業とデータ調達関係を構築
1. 高度に分析された人流ビッグデータのサブスクリプションサービス



### 課題意識

- 急速な経済成長とモータリゼーションの進展による交通渋滞が深刻化、その解消のための公共交通インフラ整備の推進
- 定量的な根拠に基づく意思決定（Evidence-Based Decision Making / EBDM）が十分に普及していない実態
- 都市・交通に係る行政機関間の情報共有や協働体制に課題
- 従来のPT調査等によるデータの取得には膨大なコストと時間が必要



### 着眼点

- ASEANの諸都市を対象としたモバイルビッグデータを活用した公共交通の改善に資するスマートプランニングツールの展開





## 背景

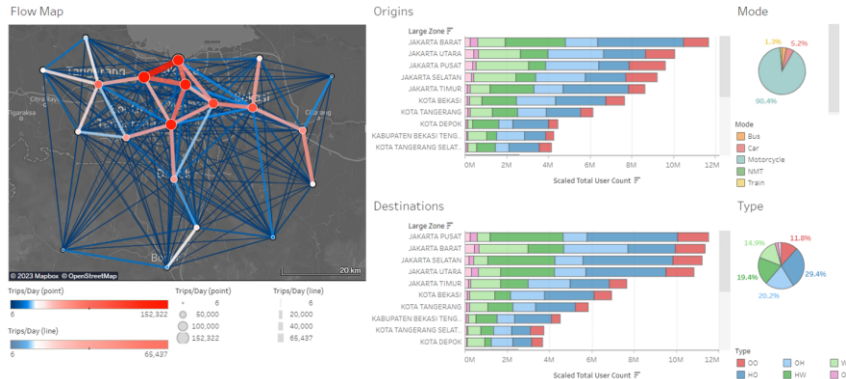
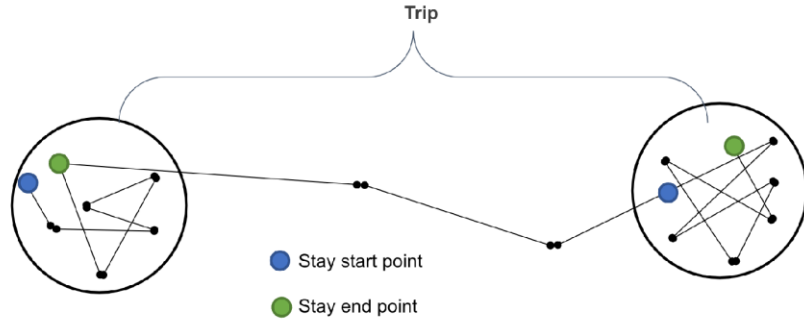
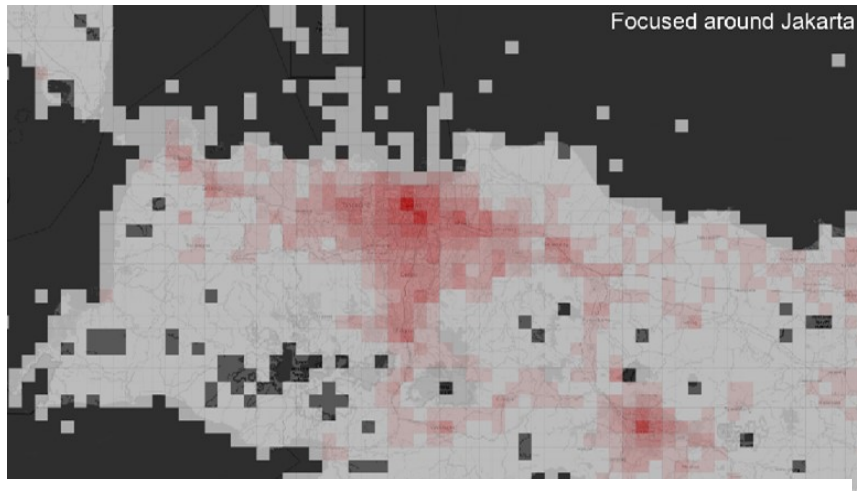
- 尼国CMEA（経済担当調整大臣府）とJICAとの技術協力プロジェクト※の一環として、ジャカルタ首都圏におけるTOD（公共交通指向型開発）の在り方を検討
- 滞留人口や移動ニーズ、COVID-19の影響等、多様な側面から「人の流れ」を把握する必要

## 課題意識

- 従来手法では、データの取得に膨大なコストと時間を要することが予想
- 時空間的にダイナミックに「人の流れ」を切り出して可視化することが困難

## ソリューション

- GPSデータと過去に同都市圏で実施された交通調査を組み合わせた人流推定モデルを開発
- スマートプランニングツール（オンライン交通ダッシュボード）を実装
- 同都市圏におけるスマートプランニングに適用



## データ調達・評価

- データ調達
- 時空間カバレッジ・代表性の評価

## 事前処理

- ノイズ除去処理
- 滞留の推定
- トリップ（人の移動）の推定

## モデル

- 居住・就労ゾーンの推定
- 機械学習による交通モード推定

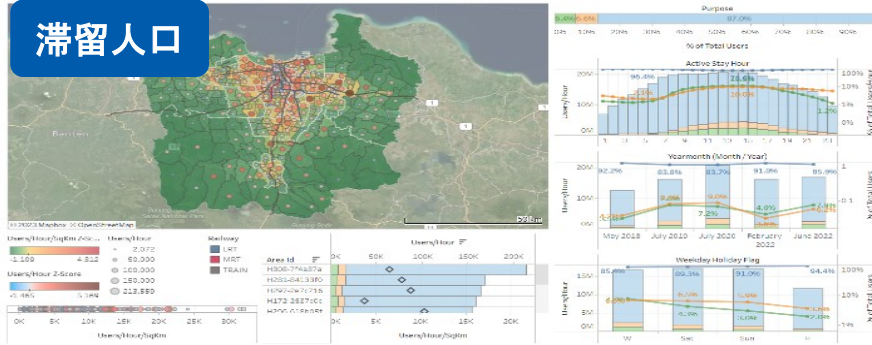
## 集計

- 拡大係数の設定
- 秘匿化・集計化
- 精度検証

## 可視化

- ダッシュボードによる多様な可視化
- スマートプランニングへの適用

## 滞留人口

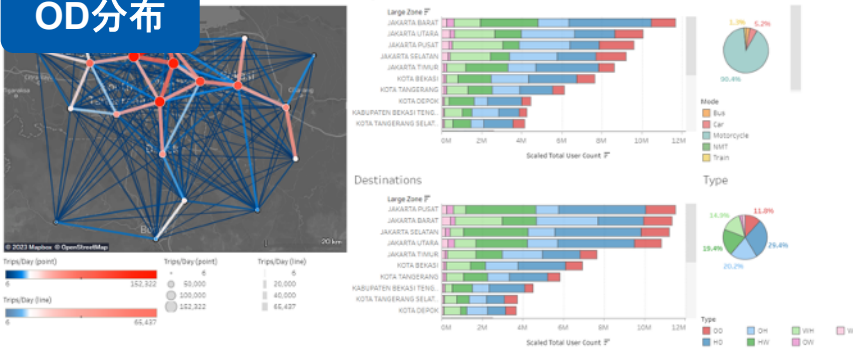


## 交通計画実務の高度化



時間帯別滞留人口の可視化  
→ 地区での活動拠点の把握

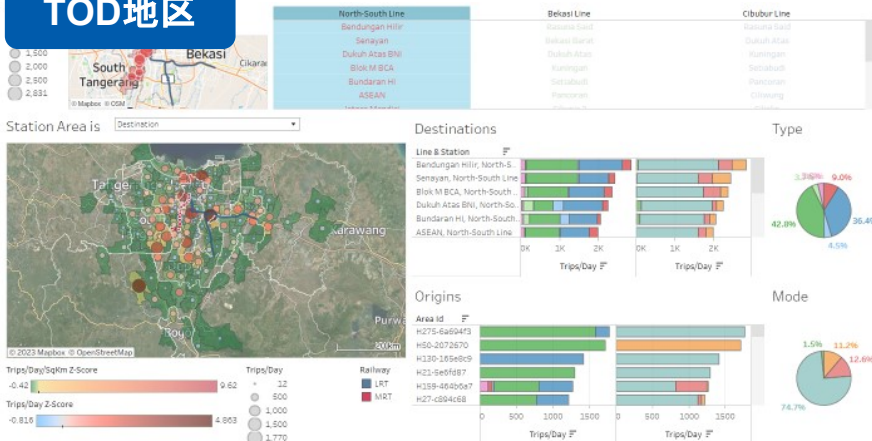
## OD分布



移動ニーズ (OD) の可視化  
→ 交通ネットワーク検討に活用



## TOD地区



## 分野横断型の活用推進



駅周辺のTOD地区における  
滞留・アクセスニーズの可視化  
→ TOD地区における施設計画  
の検討に活用・潜在需要の把握



- ASEAN諸国を中心にオンライン交通ダッシュボードの横展開を推進
- 分野横断型の活用を推進（観光計画、都市開発、スマートシティ等）
- 交通事業者等とパートナーシップを確立し民間・商用利用を進める

